

目 次

序章 — 本研究の学術的背景と研究の目的・方法

池谷 壽夫

1. 「男子問題」の浮上—本研究の学術的背景
2. 日本における性教育をめぐる状況
3. ドイツにおける性教育をめぐる状況
4. 本研究の目的と方法

I 青少年の恋愛と性に関する国際比較調査の経過

池谷 壽夫・茂木 輝順

1. 本調査までの経過
2. 本調査の目的と課題
3. 本調査の内容構成
4. 本調査の方法と実施概要

II 日本における青少年のセクシュアリティとジェンダー

茂木 輝順

1. はじめに
2. 研究方法
3. 結果
4. おわりに

III 家族関係から見た青少年のセクシュアリティとジェンダーの課題

加野 泉

- はじめに
1. 研究方法
 2. 結果
 3. 考察
 4. おわりに

IV 日本とドイツにおける青少年のセクシュアリティとジェンダーに関する比較

池谷 壽夫

- はじめに
1. 家族構成と家庭環境
 2. 性に関する学習内容と性教育
 3. 性に関する情報源と性の知識水準
 4. 自分を認め受け容れてくれる人
 5. 青少年の性的ボディ経験と性的ボディイメージ
 6. セックス・セクシュアリティ・ジェンダー観をめぐる比較
- おわりに

終章 — 日本における青少年のセクシュアリティとジェンダーをめぐる教育課題

池谷 壽夫・加野 泉・茂木 輝順

付録 本研究期間内における研究業績

資料 1 青少年の恋愛と性に関する国際比較調査アンケート票

資料 2 基礎集計表